

兒雷也豪傑譚こらいやうやくたね  
貳に編へん十じゅう

^ 13  
3811  
36

36



門 13  
3811  
35

豪傑

鬼雷也

物語

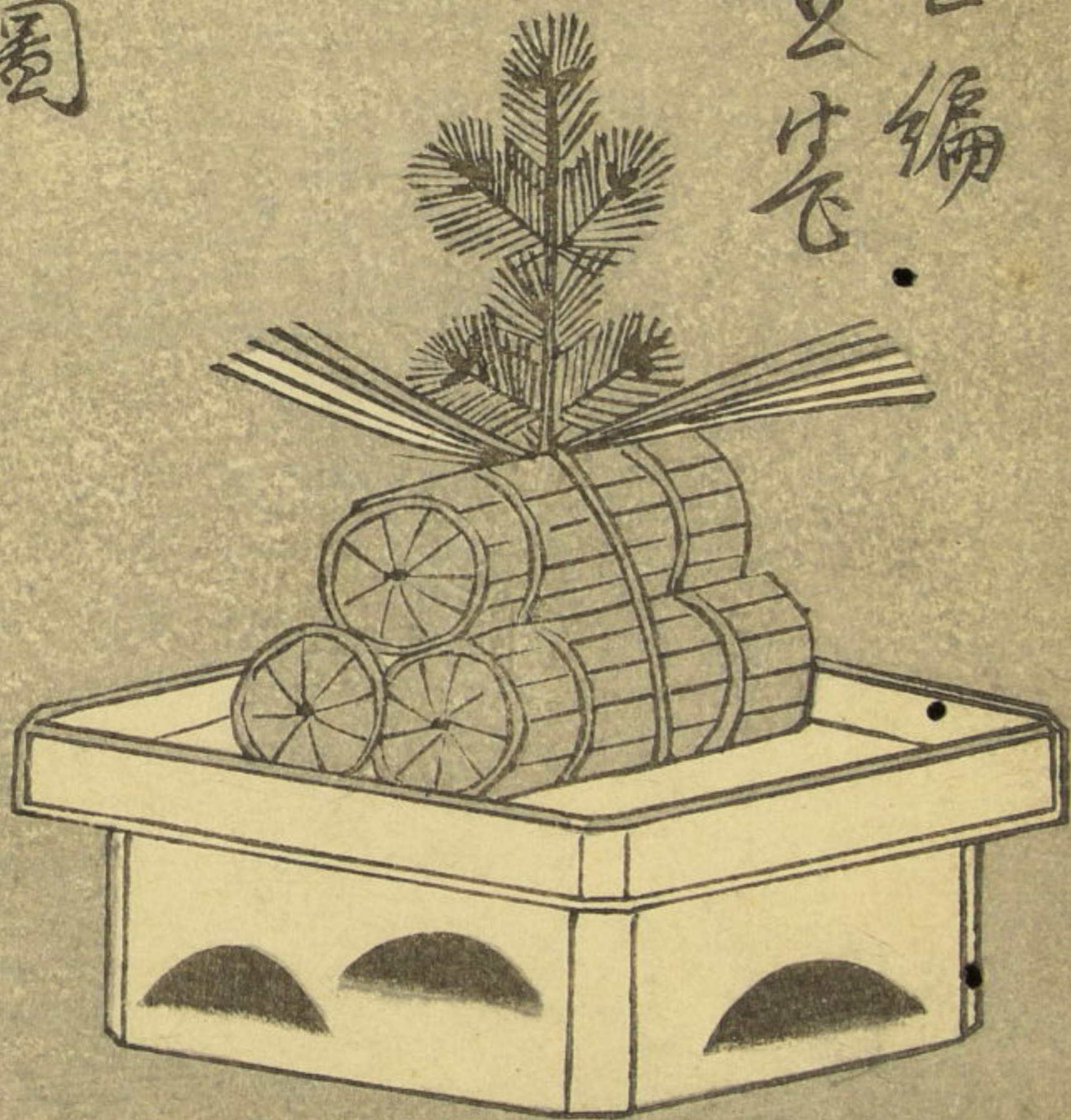
柳下亭著作

梅窓接画圖

日尔多持

三中之編

とけち



九 一 九

『藤がこれに浮世のどく好まぬ』他に見ぬ井蛙の筆頭も成策子にわれを  
『ゆゑもややがくわれを初性』と吟じたる句ふむらうく人必定見  
絶えぬんと思外ふ『養養が去年よりうらうらうの如し』昨年る  
後集の『し』と力草ふ綴るも目新げな本更もなぐ研はつても  
『池や』と『いひ水は流る』閑雅み住居賤機山の菴を去り持氏殿の  
加勢の爲り寛行が鎌倉山に『軍』と云ふ句も『池』と云ふ句も『寄來歌  
で打推高名千柄も』と云ふ句も『蛙』の『星』の『彼國清寺』  
星標の一段杯の腹稿も『拙著』と云ふ句も『巻』の『増編』と云ふ句も  
『資内』と云ふ句も『中』と云ふ句も『中』と云ふ句も『中』と云ふ句も  
中よりとびく抜出毎度蛙の這のる是兒雷也の舒詞ありありの

安政戊午獻歳

柳下亭種員記



日七百七十一編



月影家

月影家

女臣

五十嵐典膳

猛連

同家

侍

細手

五十嵐の

奴隸

池内

月影家



色太郎  
顯廣

足利左馬頭  
持氏朝臣

畑守大膳  
定直

見番七十一

鱈淵現藤太

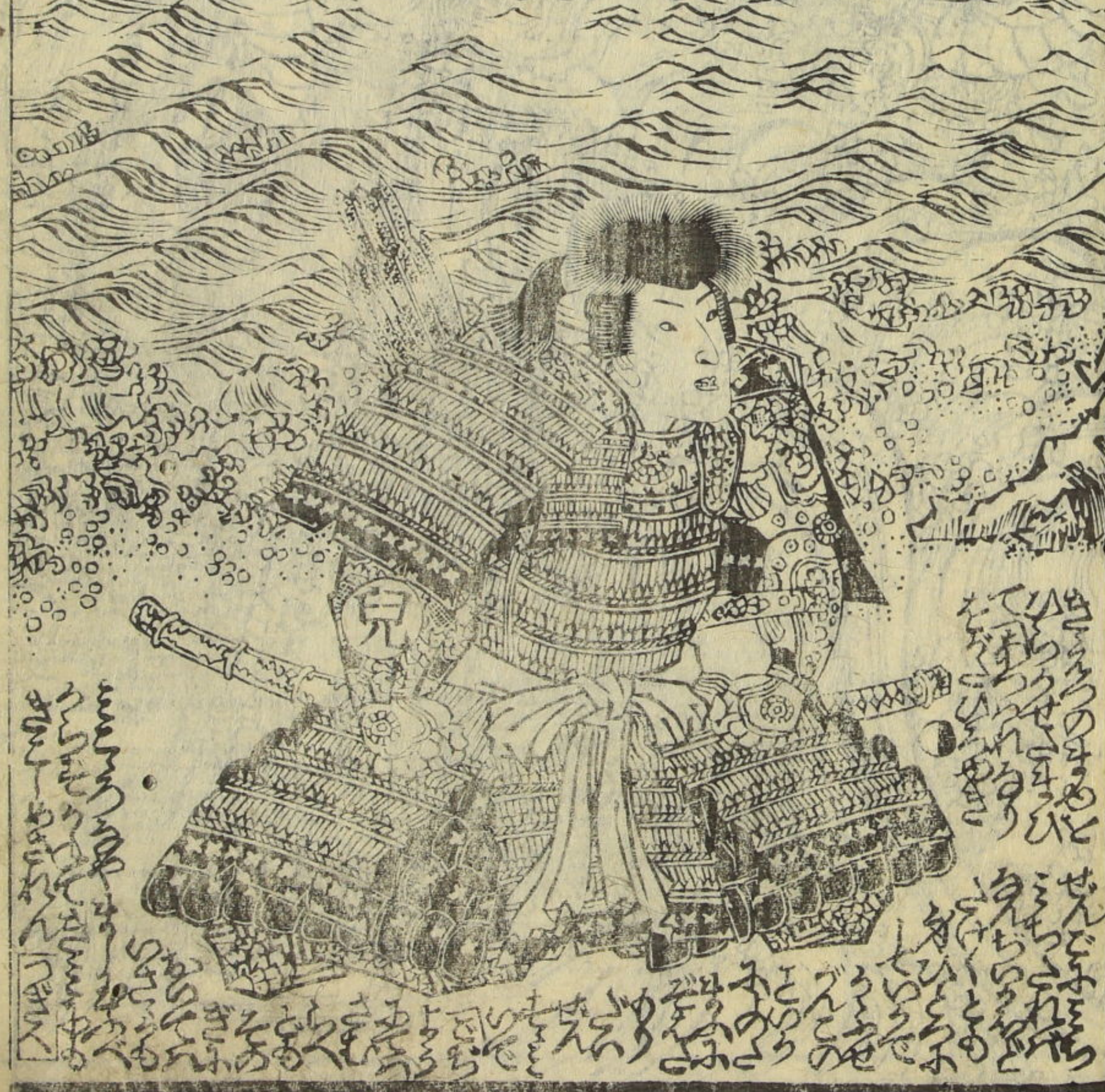


去を去る  
 けを去る  
 けを去る  
 けを去る

望月右内  
 白露娘

一色正成 忠臣蔵 一色正成 忠臣蔵... (Main text at the top of the left page)

平家正成 忠臣蔵



一色正成 忠臣蔵 一色正成 忠臣蔵... (Main text at the top of the right page)



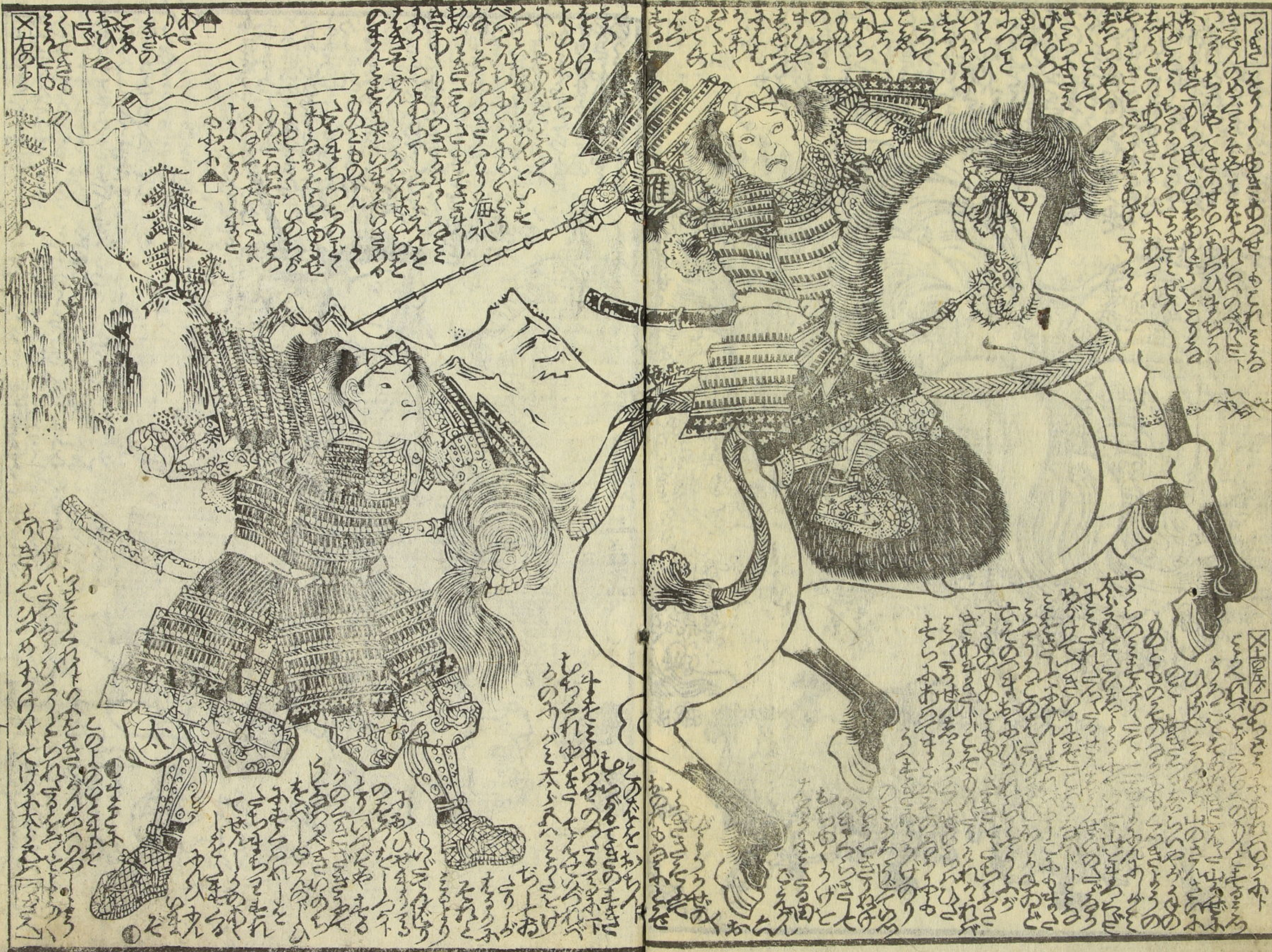
〇巻一  
 〇巻二  
 〇巻三  
 〇巻四  
 〇巻五  
 〇巻六  
 〇巻七  
 〇巻八  
 〇巻九  
 〇巻十  
 〇巻十一  
 〇巻十二  
 〇巻十三  
 〇巻十四  
 〇巻十五  
 〇巻十六  
 〇巻十七  
 〇巻十八  
 〇巻十九  
 〇巻二十



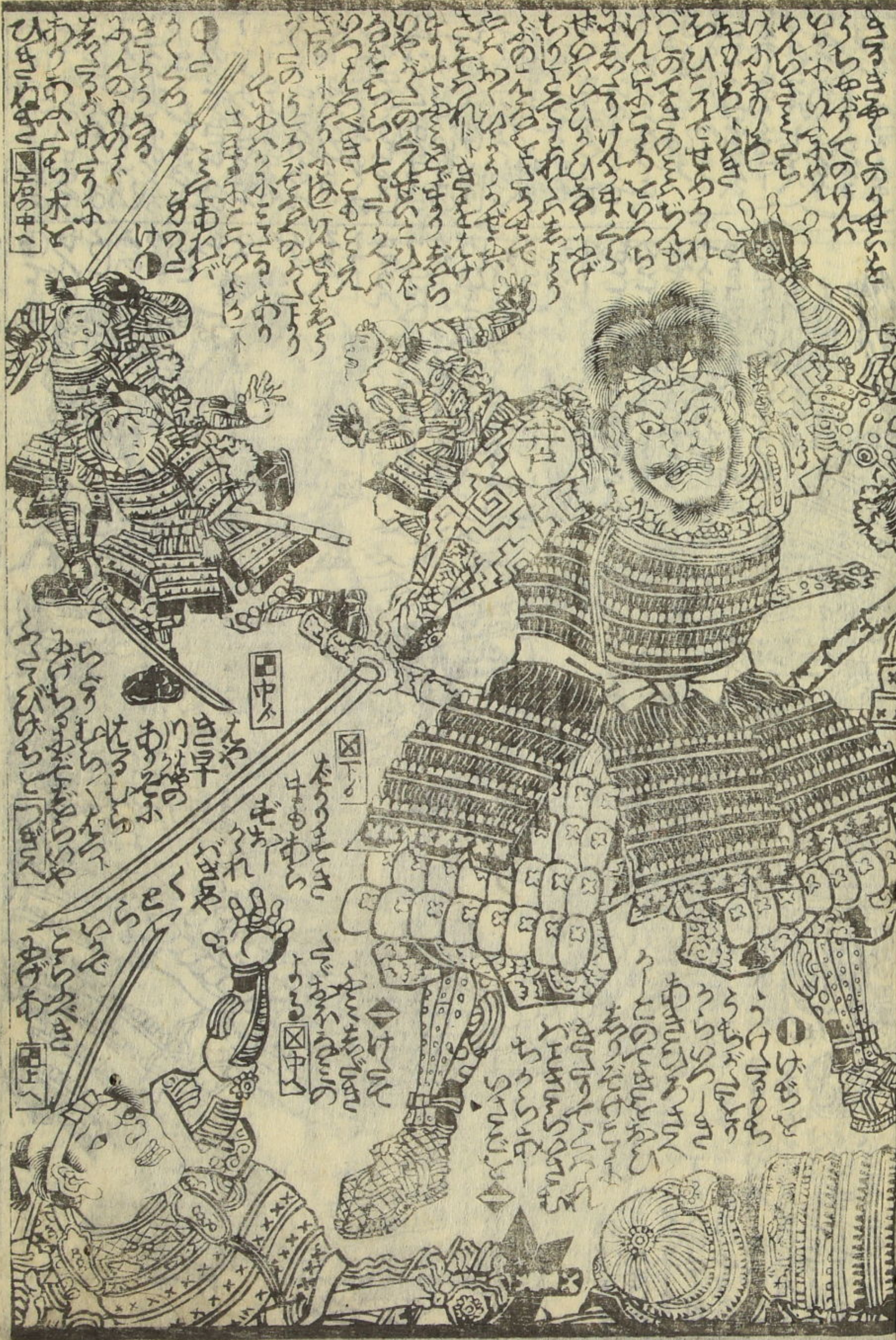
〇巻二十一  
 〇巻二十二  
 〇巻二十三  
 〇巻二十四  
 〇巻二十五  
 〇巻二十六  
 〇巻二十七  
 〇巻二十八  
 〇巻二十九  
 〇巻三十



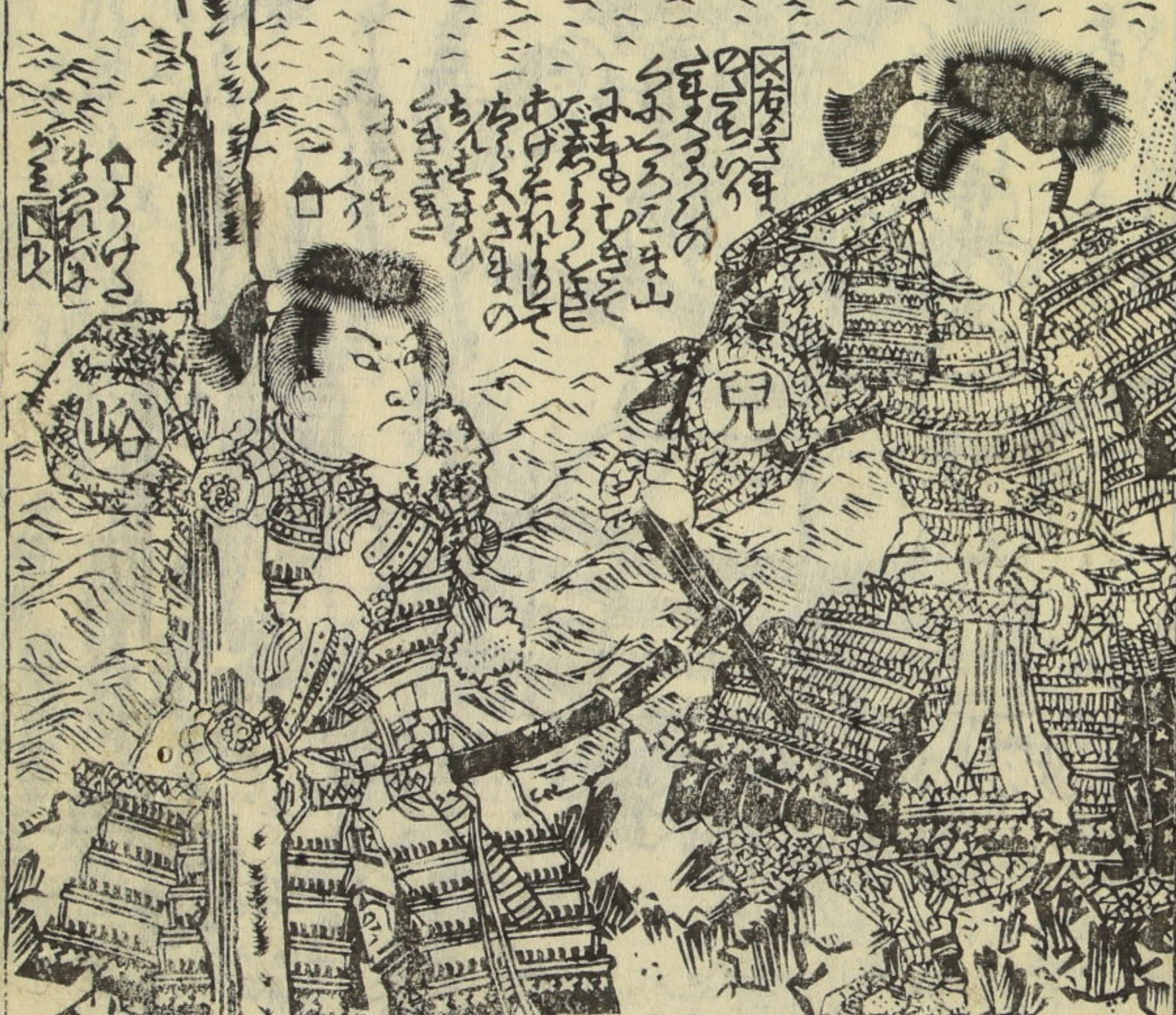
〇巻三十一  
 〇巻三十二  
 〇巻三十三  
 〇巻三十四  
 〇巻三十五  
 〇巻三十六  
 〇巻三十七  
 〇巻三十八  
 〇巻三十九  
 〇巻四十







三日月...  
 ひろし...  
 あま...  
 こゝろ...  
 あま...  
 こゝろ...  
 あま...  
 こゝろ...



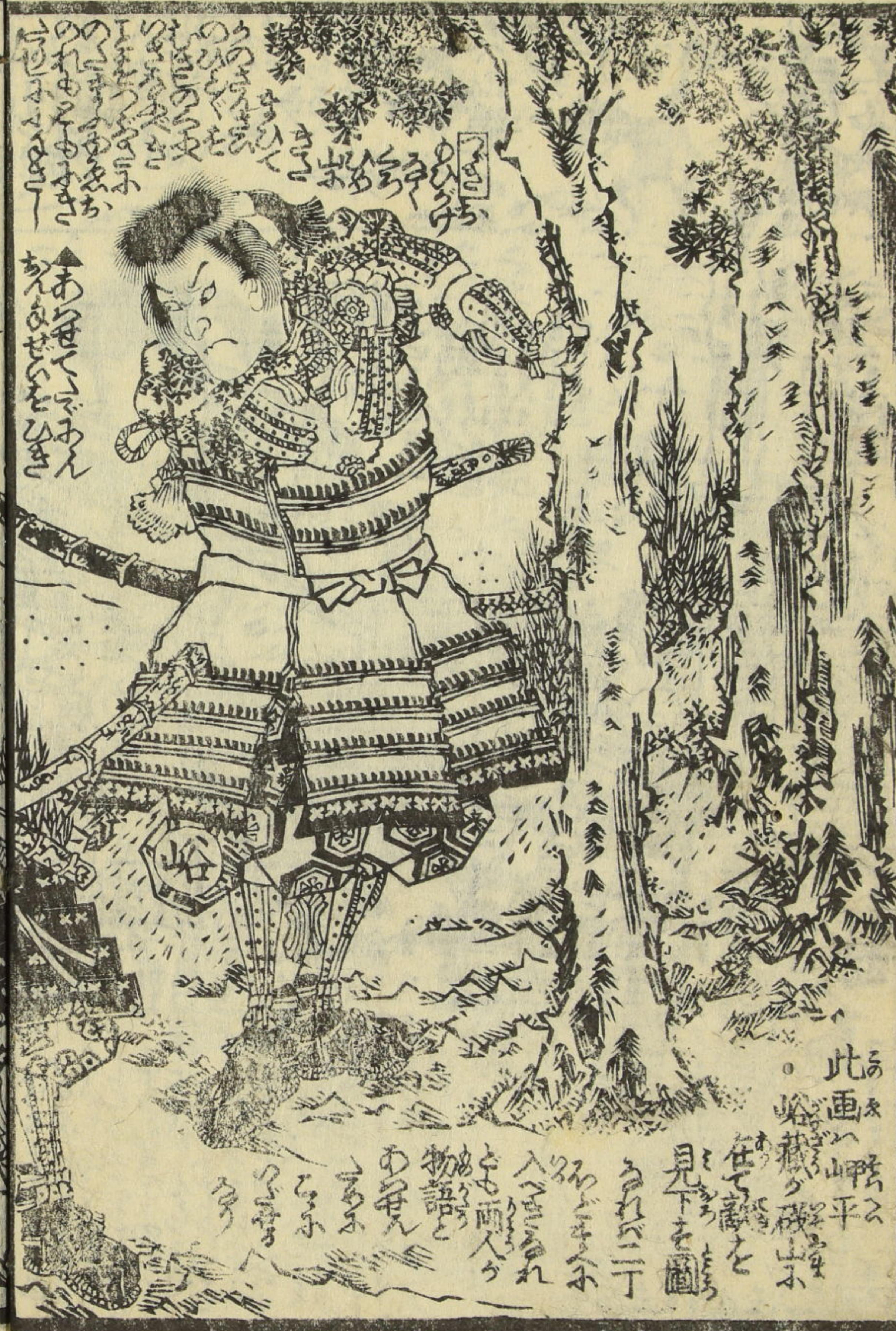
五  
 百  
 七  
 十  
 二  
 篇

三日月...  
 ひろし...  
 あま...  
 こゝろ...  
 あま...  
 こゝろ...  
 あま...  
 こゝろ...

三日月...  
 ひろし...  
 あま...  
 こゝろ...  
 あま...  
 こゝろ...  
 あま...  
 こゝろ...



五  
 百  
 七  
 十  
 二  
 篇



のひびくまは  
のひびくまは  
のひびくまは  
のひびくまは  
のひびくまは

あつせんいあん  
あつせんいあん

此の  
画は  
平  
蔵の  
破  
山  
見  
下  
を  
圖  
る  
に  
二  
丁  
入  
る  
に  
人  
の  
語  
を  
物  
語  
の  
見  
る  
に  
多  
く



たつたのこの山  
たつたのこの山  
たつたのこの山  
たつたのこの山  
たつたのこの山

あつせんいあん  
あつせんいあん  
あつせんいあん  
あつせんいあん  
あつせんいあん

あつせんいあん  
あつせんいあん  
あつせんいあん  
あつせんいあん  
あつせんいあん

安政五戊午新影略目錄

小倉百人一首

極小倉百人一首  
小倉百人一首

新編金瓶梅

十編捕  
馬琴作  
豊國画

小女郎殊怨麻環

三編讀切

馬琴作  
國芳画

兒雷也豪傑譚

卅一編 柳下亭種員作  
卅二編 壽齋國貞画  
卅三編 一

種員作國貞画



忠臣貞婦  
いろは文庫

初編二冊外  
巻端を冊添  
柳煙之種久作  
柳下之種久校合  
一龍高國盛画  
秋川豊國助画  
按云貞婦云魚補



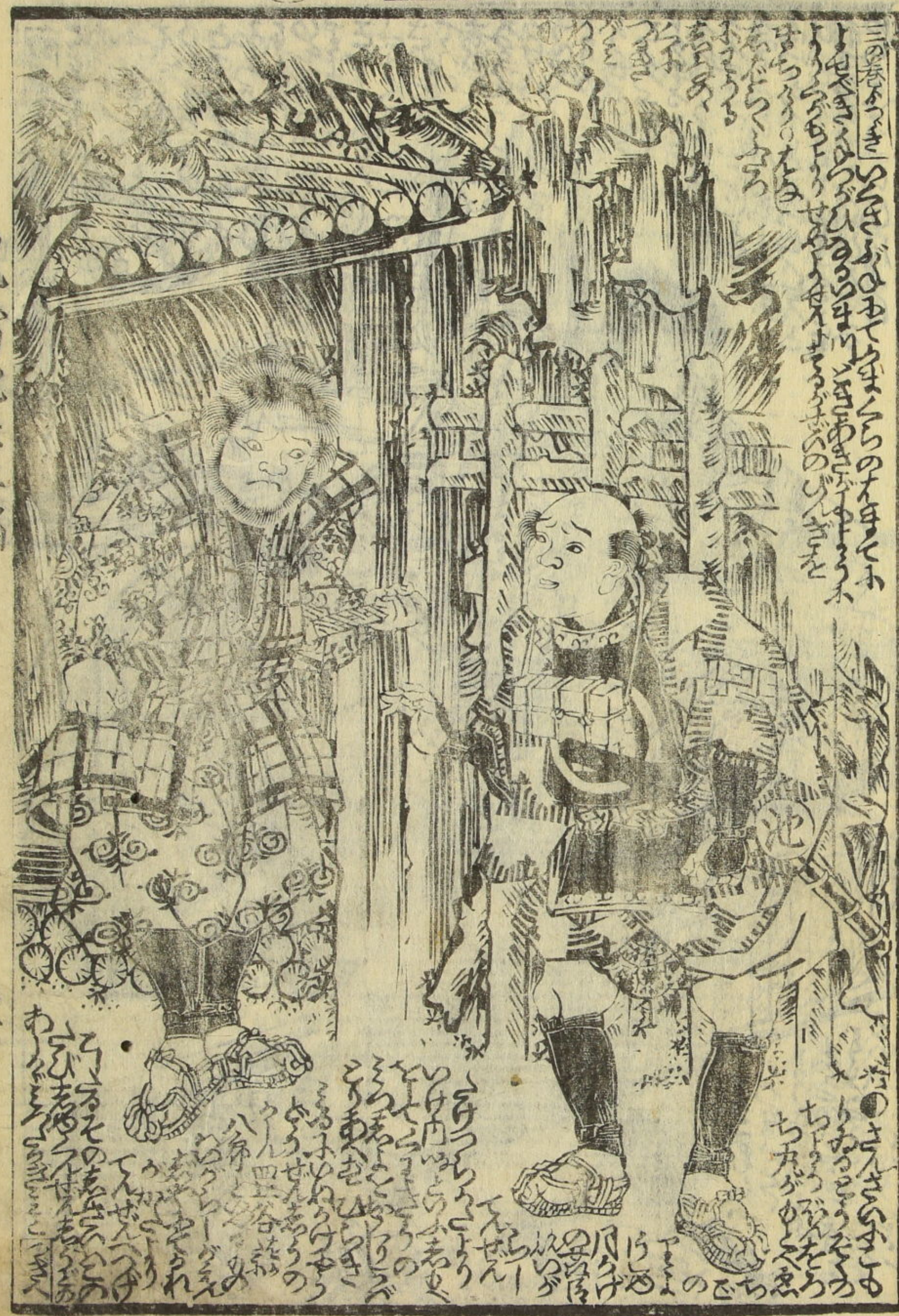
一壽齋國貞画

柳下亭種員作

外題豊多國貞

下





種員化  
國貞畫

志以也

家傑禪

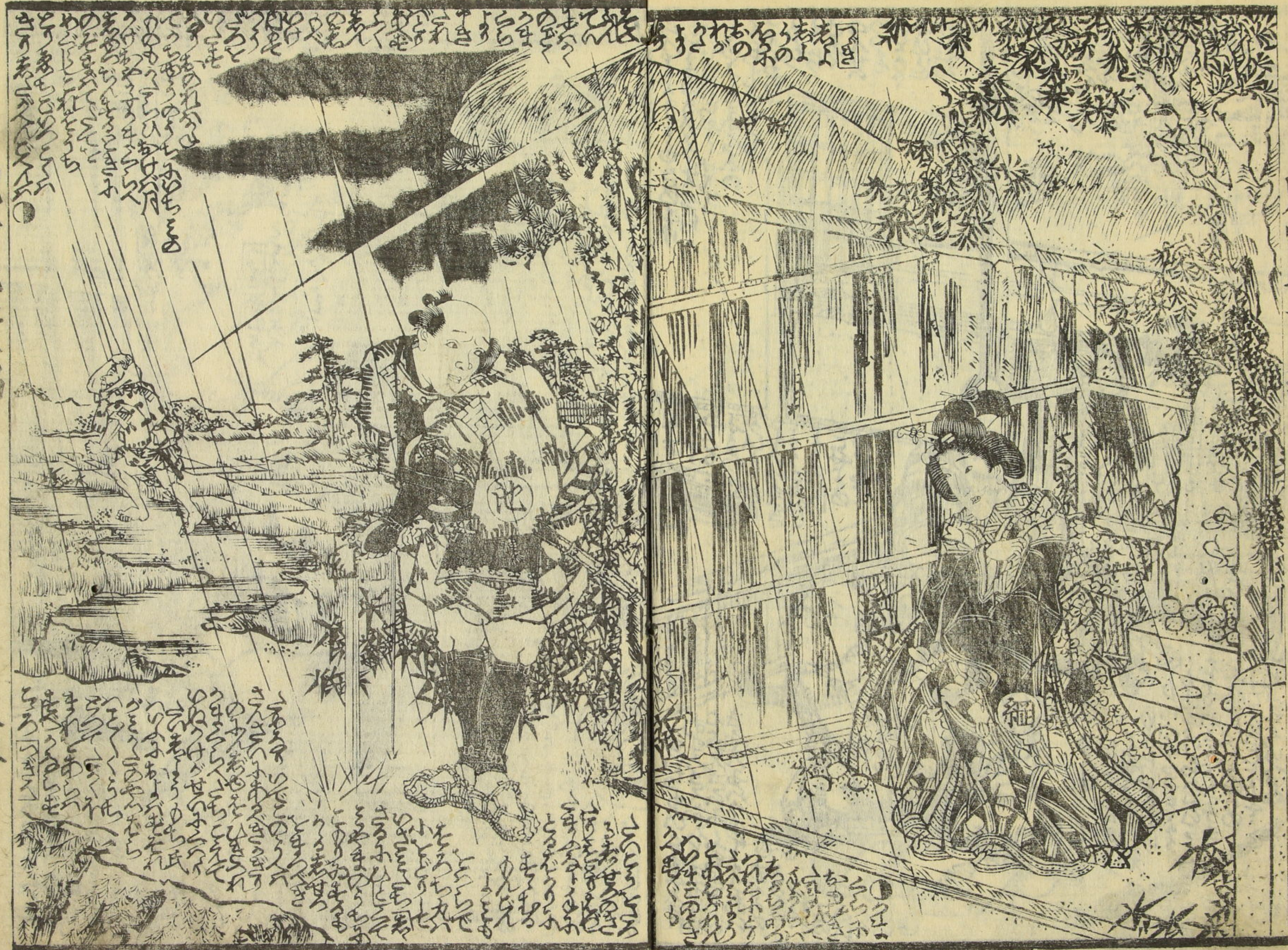
世之編



甘家書

教切









申すは  
あまのあけ  
のひやく  
しんせいの  
ゆふあを  
えらびて  
よのあけ  
のひやく  
を

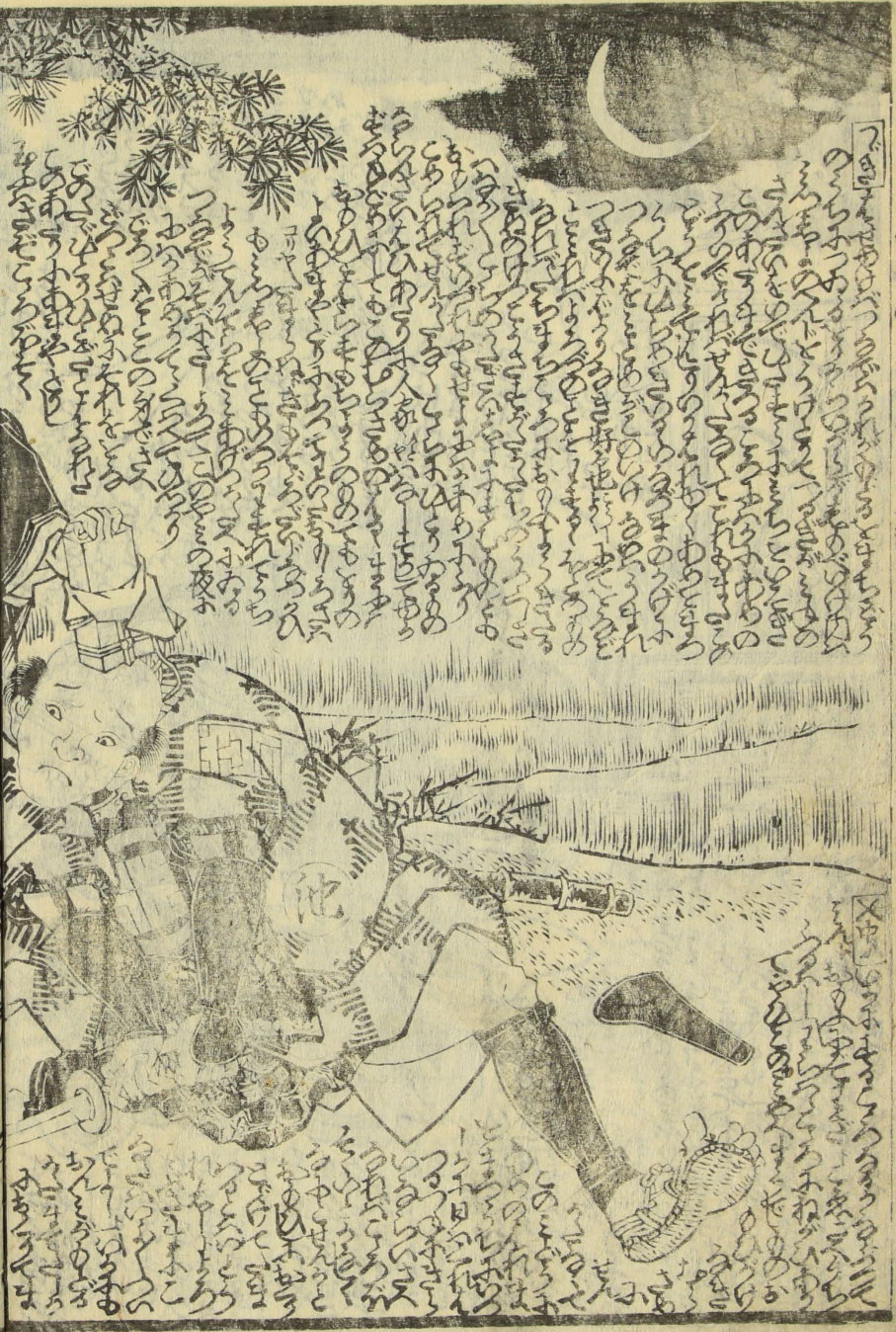
まへに  
あまのあけ  
のひやく  
しんせいの  
ゆふあを  
えらびて  
よのあけ  
のひやく  
を

あまのあけ  
のひやく  
しんせいの  
ゆふあを  
えらびて  
よのあけ  
のひやく  
を

あまのあけ  
のひやく  
しんせいの  
ゆふあを  
えらびて  
よのあけ  
のひやく  
を

あまのあけ  
のひやく  
しんせいの  
ゆふあを  
えらびて  
よのあけ  
のひやく  
を

あまのあけ  
のひやく  
しんせいの  
ゆふあを  
えらびて  
よのあけ  
のひやく  
を



Handwritten text in a cursive style, likely a narrative or commentary related to the illustration. The text is arranged in vertical columns, starting from the top right and moving towards the left.

Additional handwritten text at the bottom of the right page, continuing the narrative or commentary.



Handwritten text in a cursive style, likely a narrative or commentary related to the illustration. The text is arranged in vertical columns, starting from the top left and moving towards the right.

Additional handwritten text at the bottom of the left page, continuing the narrative or commentary.



江戸野合廿二冊

上



江戸野合廿二冊

上

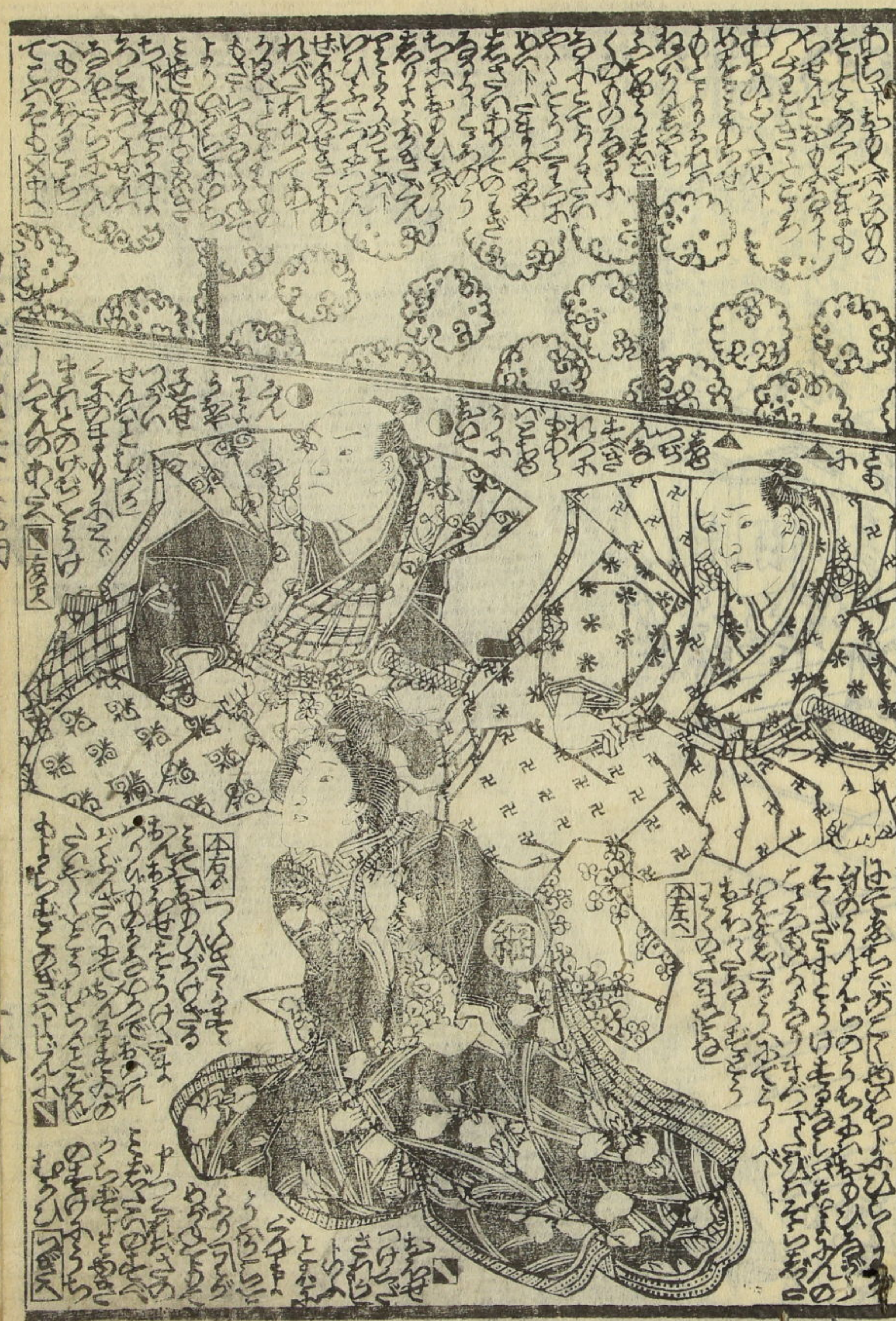


己巳年七月廿二日

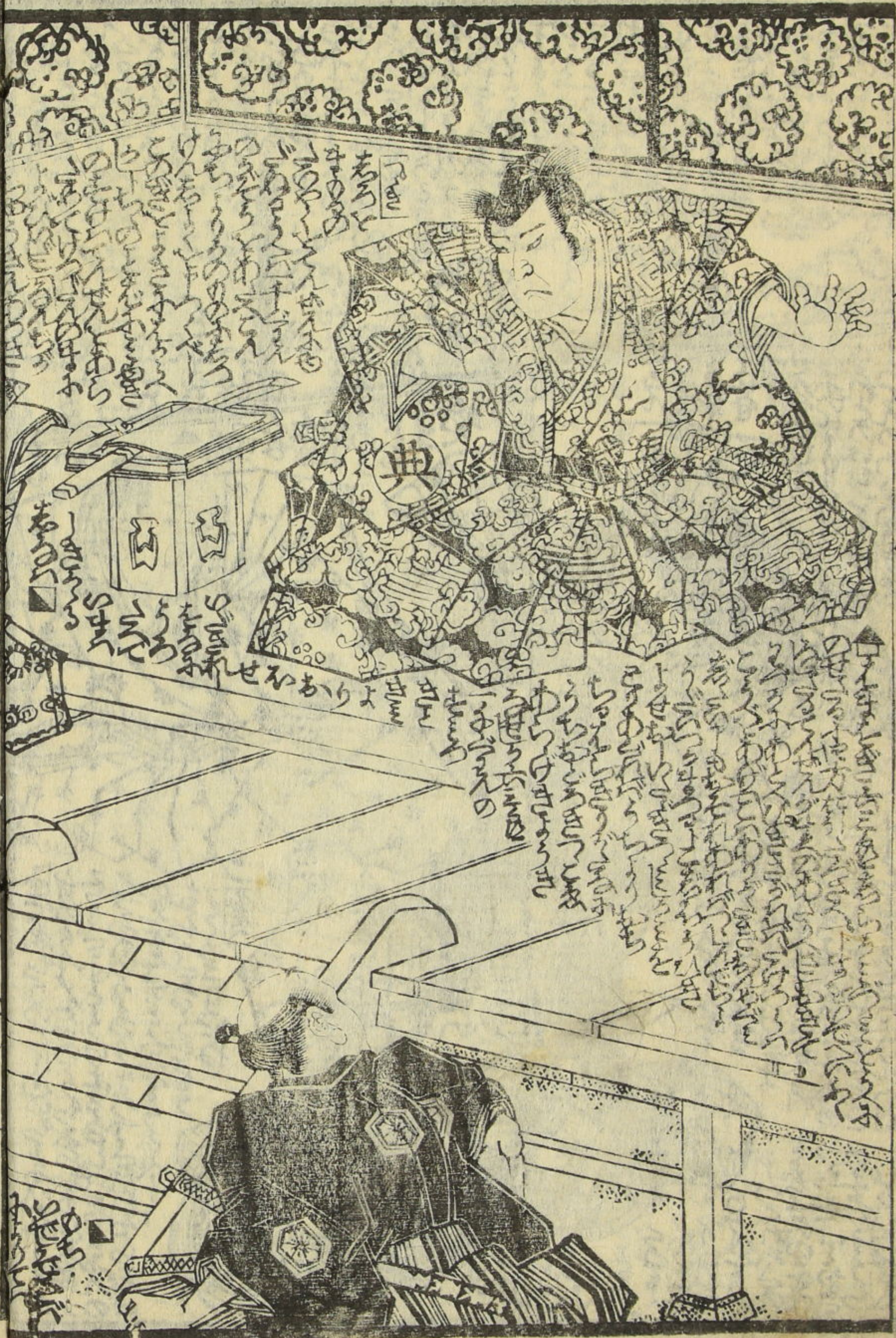
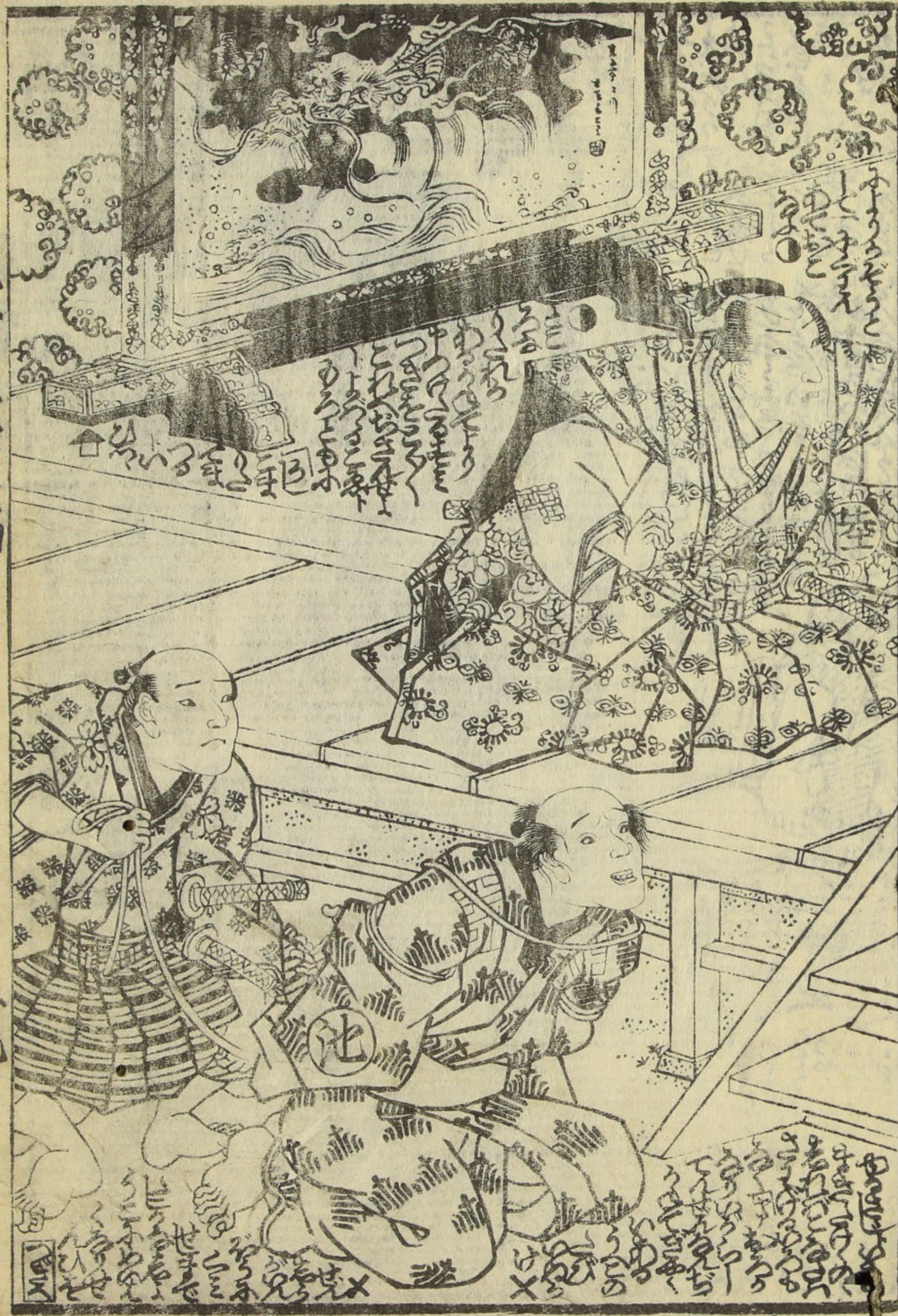
己巳年七月廿二日

Vertical Japanese text columns on the left page, including a large block at the top and smaller blocks interspersed with the illustration.

Vertical Japanese text columns on the right page, including a large block at the top and smaller blocks interspersed with the illustration.

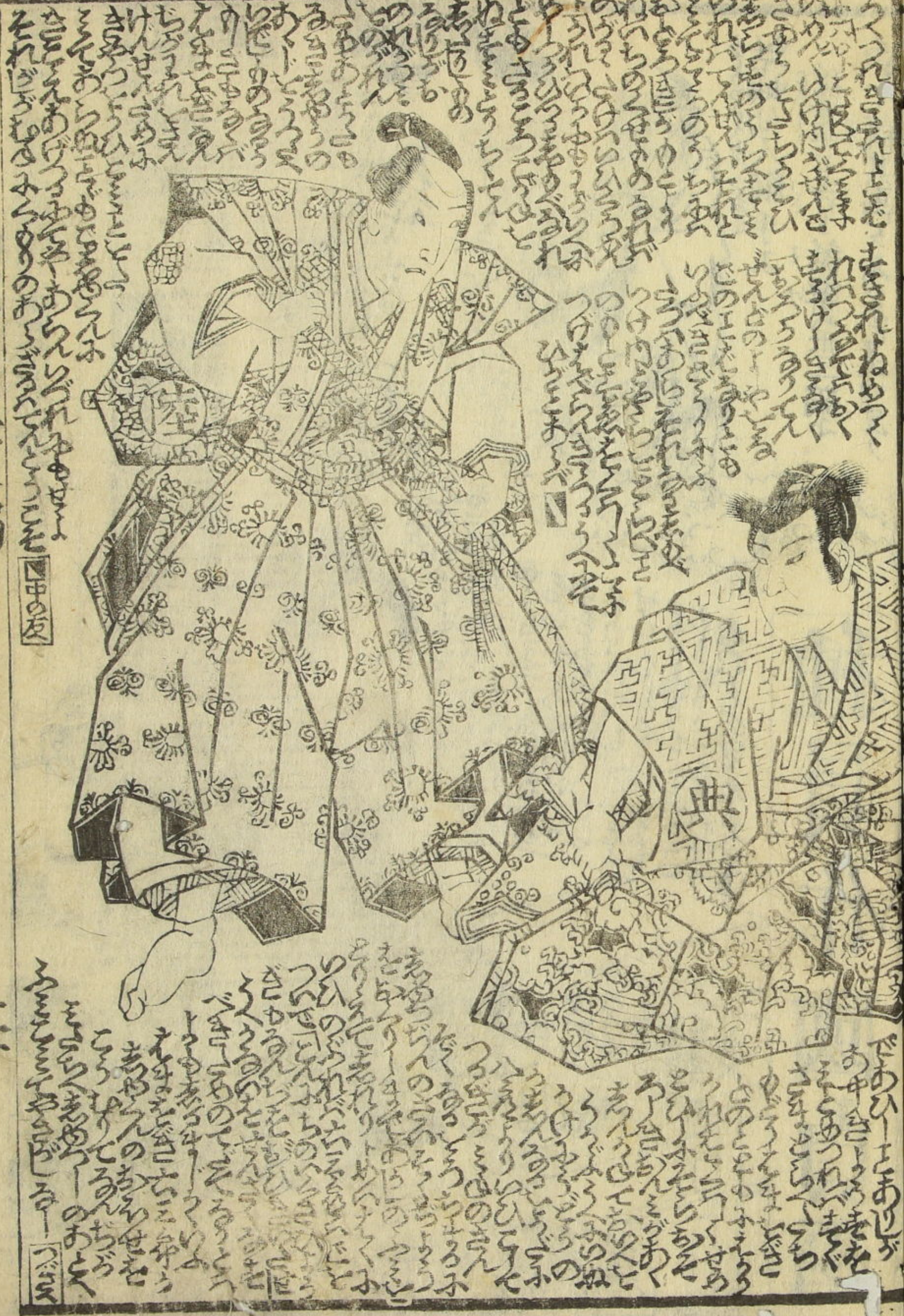


片音七九二終



兒雷也州二編

九



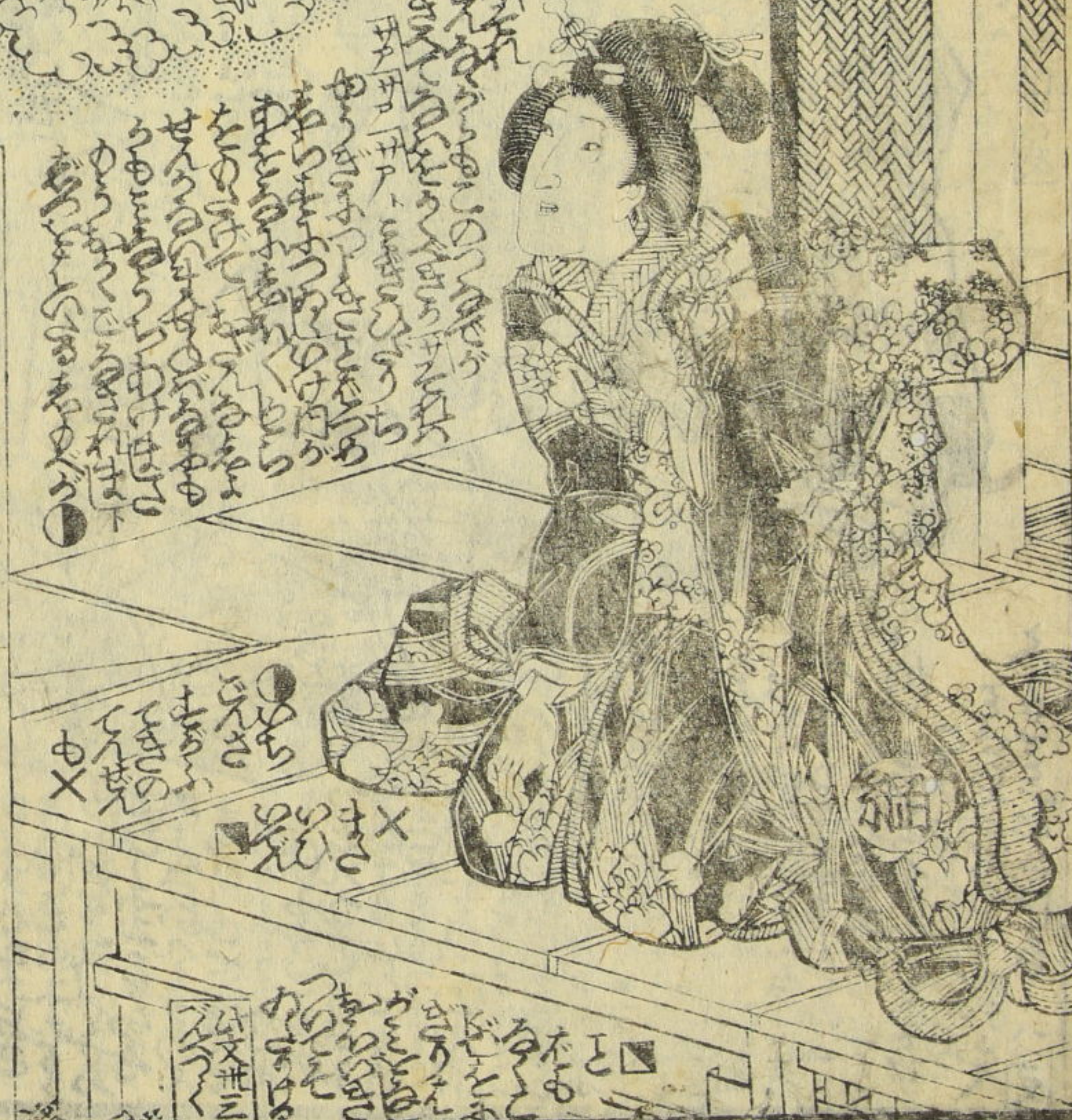
111

111

蛞蝓仙人綱手小  
後事と告る話解世三編小  
説其画と云ふ事あり



種員作國貞画



源平打毬

ひねり白赤  
の毬のり  
まひちを  
まよていとく  
多かるまき  
り

女郎花五色石臺

上編  
九編  
折下多種員作  
一雄齊國程画

新編金瓶梅

初編  
十編  
大尾  
曲亭馬琴作  
一陽齋豊國画

黄金水入字盤

七編  
八編  
出板  
為永来水化  
鉄川國貞画

一猛齋芳虎画

三十六歌仙詠色双六  
古今よひんるる双六あり

柳下亭種員作

兒雷也豪傑譚

一壽齋國貞画

卅一編  
卅二編  
卅三編

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛板



